

Ⅶ ボランティア活動

公民館講座とボランティア活動

岡垣町中央公民館 社会教育指導員 川野 マユミ

公民館講座とボランティア活動の関係

公民館講座の受講生が、学校や地域の中で講座での学びの成果を活かしたボランティア活動を行うことによって、町づくりに参画し、さらには自己の生きがい作りや地域との交流を深めることを目的とした公民館講座を実施している。

実施に至る経緯

本館で実施されている講座のうち、中核をなしているのが「若潮学級」と「成人講座ゆうま」である。この2つの講座の受講生は、講座で学んだ学習の成果を活かし、他の公民館講座や小中学校でボランティア活動を行っている。受講の成果を町に還元し、自己の生きがいにもつながる活動となっている。

両講座は、講座の形態は異なるが、ともに受講対象を20歳以上とし、講座開設の趣旨の1つに「学習の成果を活かしたボランティア活動」を掲げている。

この趣旨は講座創設当初からのものではなく、平成18年度の本町の「行財政改革」の際に変更されたものである。当時の岡垣町は「第4次総合計画」の後期にあたっており、「住民と行政との協働によるまちづくり」を念頭に、公民館の役割も「学習機会の提供」のみならず、「ボランティア活動などの住民による地域づくり活動を展開する取り組み」を行うとされたのである。

これ以前にも小学生や保護者を対象とする「陶芸教室」（公民館講座）などで、受講生によるボランティア活動は行われていたが、19年度からは「学校支援ボランティア」も始まり、夏・冬休み中の子ども講座におけるボランティア活動が本格化した。

事業の内容と成果

「若潮学級」・「成人講座ゆうま」の講座内容と運営

今年度の受講者数(平成23年5月時)および年間講座回数は、次のとおりである。

「若潮学級」 …受講者数148名、年間講座回数19回

「成人講座ゆうま」… 〃 178名、 〃 21回

「若潮学級」はほぼ1日がかりの講座であり、午前中に教養講座（さまざまな分野における専門家の講演を聞く講座）に参加し、午後からは5つの専門コース（かな書道初級・民謡・歌唱・初級陶芸・絵と字）に分かれて学習する。

「成人講座ゆうま」には教養講座はなく、5つの専門コース（かな書道中級・書道・健康体操・リフォーム洋裁・男性料理）のみの学習となる。

年度当初に広報に折り込みチラシを入れて受講生の募集を行うが、その際に、両講座とも「ボランティアに参加」を明記している。

講座は自主運営となっており、班長・副班長をはじめ、会計係・記録係などを互選し、会場準備から司会進行、後片付け等々も受講生が行っている。班長は、毎回班長会に出席して公民館との打ち合わせを行う。受講生と公民館との橋渡し役である。この班長会において、ボランティア募集の連絡・調整なども行っている。

また、ボランティアに対する意識を高めてもらうため、「若潮学級」でボランティアに関する教養講座を年2回ほど設定し、その回に関しては、教養講座のない「成人講座ゆうま」も合同講座とし、ボランティアに対する考え方や実践例を学んでもらっている。

学校支援ボランティア

小・中学校からの要請によって学校に出向き、授業やクラブ活動の支援を行うもので、受講生は学校の先生の補助を行う。事前に公民館と学校とで打ち合わせを行い、学校の先生が主体的に授業をされ、実技の段階で受講生が児童生徒の個別指導を行うようにするといった授業の流れの確認をしている。これまでに小・中学校で「書写」、小学校で「家庭科（調理・洋裁）」「昔遊び」などの補助を行った。

1クラスの児童数が少ない小学校などでは特に個別指導が行き届く感があり、中学校においても、生徒たちが年配の受講生の丁寧な指導を受ける姿はほほえましい。ミシンや包丁など危険物を使う授業では、特に個別指導が威力を発揮している。

受講生の側においても、男性料理コースの受講生が学校での調理実習を前に、講座で同じメニューの実習を行い、包丁の使い方や鍋をコンロにかける際の注意事項なども学習して、しっかり伝授しようと奮闘している姿は、実に生き生きと見える。

リフォーム洋裁の受講生は洋裁に関してはベテラン揃いであるが、それでも学校のミシンは普段使用しているものとは機種が異なるため、逆に小学生から使い方を教わる場面もあり、それもまた互いの交流となっているようである。



<中学校「書写」の授業>

事後の児童生徒や受講生の感想文からは、技術の向上のみならず、目には見えない心の交流の面でも成果を上げていることがわかる。なお、今年度のボランティア参加状況は、合計51名（延べ人数67名）であった。参加人数は学校と話し合っ調整している。

子ども講座でのボランティア活動

本館では、毎年夏・冬休みに子ども講座として、小学生や保護者達を対象とする講座を開設している。小学生のみを対象とする「チャレンジスクール」と、小学生と保護者のペアを対象とする「大人と子どものふれあい教室」である。両講座の受講生募集は、町内の全小学校にチラシの配布・申し込み用紙の回収をお願いしている。

表は子ども講座にボランティアを出す講座と受講実績である。

毎年多くの子どもや保護者からの申し込みがあり、できる限り受け入れているが、それ

を可能とするのは、「若潮・ゆうま」受講生の活躍によるものである。

◎「チャレンジスクール」

教室名	ボランティアを出す講座	募集数	応募数	受講数	備考
絵手紙	若潮「絵と字」	30名×1回	40名	37名	受入数増
書道	ゆうま「書道」「かな書道中級」	20名×2回	27名	26名	
絞り染め	ゆうま「健康体操」	20名×2回	79名	75名	受入数増
手芸	ゆうま「リフォーム洋裁」	20名×3回	60名	48名	
料理	ゆうま「男性料理」	30名×3回	124名	92名	抽選実施
百人一首	ゆうま「健康体操」	30名×1回	35名	25名	
合計		290名	365名	303名	

◎「大人と子どものふれあい教室」

教室名	ボランティアを出す講座	募集組数	応募組数	受講組数	備考
陶芸	若潮「初級陶芸」	20組×4回	134組	97組	抽選実施

※他に「工作」「そば打ち」「みそ作り」「注連飾りづくり」などの教室があるが、保護者と一緒に受講するため、「陶芸」以外はボランティアの必要がない。



<手芸教室>



<料理教室>



<陶芸教室>

今年度のボランティア参加状況は、合計134名（延べ222名）で、該当する講座における参加率は59%であった。

課題と今後の方向性

事業の実施はスムーズに行われているが、これは班長の働きに負う部分も大きい。ボランティアの内容が専門コースで学ぶこと以外の場合、ボランティアの参加者が集まりにくく、班長は苦勞したようである。ボランティアに対する意識のさらなる啓発が必要である。

また講座修了者には、「人財百科」等町の人材バンクへの登録依頼を行っている。公民館でのボランティア活動をきっかけとして、今後は自発的なボランティア活動を行って「町づくり」に積極的に関わってほしいと考えている。

問い合わせ先

〒811-4242 福岡県遠賀郡岡垣町吉木西 1-1-1 生涯学習課公民館係(中央公民館)
TEL : 093-282-0162、FAX : 093-282-3330、Eメール : koumin@town.okagaki.fukuoka.jp